

エクスカーション①：琵琶湖：400万年の歴史を有する古代湖

【概要】

日本最大の湖である琵琶湖は、約400万年の歴史を有する世界でも数少ない古代湖の一つであり、多様な固有種を育む生態系と、近畿圏約1400万人の水源としての機能をあわせ持っています。古くから水運や漁業を通じて人々の暮らしと文化を支えてきましたが、高度経済成長期以降の都市化や農業・生活排水の影響により、富栄養化をはじめとする水環境問題に直面してきました。こうした課題に対し、流域全体を視野に入れた水質管理や、窒素・リンの栄養塩循環の理解と制御に向けた研究・政策・市民活動が展開されてきました。本ツアーでは、南湖におけるクルーズおよび琵琶湖博物館の見学を通じて、湖と人との関係の過去と現在をなぞります。同行する研究者の解説のもと、琵琶湖流域における窒素循環の特徴や、富栄養化のメカニズム、その改善に向けた科学的知見と社会的取り組みについて理解を深めます。古代湖としての長い時間軸、流域に広がる人間活動との相互作用、そして科学と社会の協働による環境再生、といった様々な視点から、琵琶湖が示す持続可能な窒素管理と人と自然の関係性に触れていただけます。

エクスカーション②：秋の京都大学芦生研究林と美山かやぶきの里

【概要】

京都府北部に位置する京都大学芦生研究林は、100年以上の歴史をもつ森林研究の拠点であり、原始的な自然が広がる貴重な森です。本ツアーでは、研究林教員の解説のもと、手つかずに近い森の生態系を見学し、日本の森林の成り立ちや人と自然の関わり、さらに近年日本各地で問題となっているシカの食害からの生態系・生物多様性保全について学びます。

あわせて同じく南丹市美山町にある「美山かやぶきの里」も見学します。ここは国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、かやぶき屋根の民家が立ち並ぶ日本の農山村の原風景が今も息づいています。集落散策を通して、里山の暮らしや文化、自然と共生してきた地域の歴史に触れることができます。

本ツアーは、原始的な森と人の営みが織りなす里山景観の両方を体感し、日本の自然と農山村文化への理解を深める内容となっています。

エクスカーション③：Discover Another KYOTO「京北でローカルSDGs体験」

【概要】

京都市内にありながら、大阪市と同じ面積を持ち、森林が9割という京北は、1300年の京のみやこ歴史をともしてきました。造都のための木材の供出に始まり、茶の湯の文化とともに銘木の生産に移行し、京都と文化の発展に寄与してきました。戦後も林業が盛んでしたが、急激な生活習慣の変容や市場のグローバル化等に伴い、地域の持続性が危ぶまれる事態となっています。これを、日本の里山の典型的な状況ととらえ、地域の持続に向けた実証（ローカルSDGs）研究が進められています。

本ツアーでは、地域の方や専門家の解説・交流のもと、1300年の京（みやこ）の歩みをたどりながら、京北でローカルSDGs実証現場を訪ねます。

昔と今、市街地と里山、社会と生活・・・様々な角度から、違った京都の顔に触れていただけます。

エクスカーション④：京都観光

【概要】

1994年(平成6年)、ユネスコ世界遺産に登録された京都の人気観光スポット「二条城」を見学します。二条城は、江戸幕府初代将軍「徳川家康」によって、天皇の住む京都御所の守護と将軍上洛の際の宿泊所とするため築城されました。

家康が築城したこの城は、後の15代将軍・慶喜が「大政奉還」を表明した場所でもあります。

場所は京都御所の裏鬼門に位置します。

「八つ橋庵とししゅうやかた」で京菓子・和菓子のカルチャー体験と昼食をお取りいただけます。

カルチャー体験では、生地から作る生八つ橋を手作りしていただけます。出来上がりはお土産にお持ち帰りいただく事も可能です。

八つ橋は、京都を代表する和菓子のひとつで、米粉・砂糖・ニッキ（シナモン）を主原料としています。

昼食は、牛肉鉄網焼きです。

最後に、世界中の旅行者を魅了する金閣寺を見学します。

金閣寺は、正式名称を鹿苑寺といい、舍利殿「金閣」が特に有名なため一般的に金閣寺と呼ばれています。

金閣を中心とした庭園・建築は、室町幕府三代将軍の足利義満が極楽浄土をこの世にあらわしたと言われ、この時代の文化を特に北山文化といいます。

※掲載のコース内容は、変更となる場合がございます。予めご了承ください。